

第202回 教育研究評議会 要録

日時 令和3年12月15日(水) 13時00分～14時15分
場所 遠隔会議：Z棟R01室，各研究室等
出席者 今岡学長，藤原理事，小路田理事，小川理事，野村理事，平井理事，河本副学長，黒子副学長，高須副学長，安田副学長，遊佐副学長，才脇副学長，中山文学部長，山内理学部長，中山生活環境学部長，渡邊人間文化総合科学研究科長，藤田工学部設置準備室会議議長，石崎評議員，鈴木広光評議員，酒井評議員，柳沢評議員，鈴木則子評議員，高田評議員，柳澤評議員，久保評議員
列席者 三野監事，福田監事，岩阪事務局次長／総務・企画課長，桑原国際課長，川村研究協力課長，林財務課長，岩田施設企画課長，鱈学務課長，西村学生生活課長，早川入試課長，横井学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録を確認。

高田評議員から，第200回教育研究評議会において審議された国立大学法人奈良国立大学機構組織運営通則について，追加資料により修正の提案があり，学長から，表現の違いであり，条項の趣旨は同じであること，既に奈良教育大学とも合意の上で教育研究評議会にて審議承認されていることを踏まえ，今回の修正の提案が必要かどうかを奈良教育大学とも相談の上で検討する旨の回答があった。

柳沢評議員から，国立大学法人法第21条においては，教育研究評議会は国立大学法人に置く，と定められているが，国立大学法人奈良国立大学機構組織運営通則第11条第1項及び第2項はこの点との整合性が取れているのか，また，国立大学法人法第10条1項にある「学長」の規定を考慮したとき，国立大学法人奈良国立大学機構組織運営通則第5条第2項にあるように「大学の長」を「学長」と略称することは適切なのかとの質問があり，小路田理事から，確認した上で対応するとの回答があった。

I 審議事項

1. 学内諸規程等の制定等について

(1) 奈良女子大学研究成果有体物取扱規程の制定について

研究協力課長から，資料1により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行することとした。

(2) 奈良女子大学における研究上の不正行為の防止等に関する規程の一部改正について

研究協力課長から，資料2により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで施行することとした。

酒井評議員から，論文の二重投稿について，審査をしてから掲載するのではなく，まず掲載してから様々な研究者からのコメントを求めるタイプの論文発表については，どのように取り扱うのかとの質問があり，研究協力課長から，投稿先の定めに基づいて判断される旨の回答があった。

2. 共同講座及び共同研究所の設置について

研究協力課長から，資料3により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，令和4年4月1日付けで施行することとした。

高田評議員から，共同講座に関連する費用の大学からの持ち出しについて質問があり，小路田理事から，基本的には共同講座の実施による外部資金で実施することとするが，状況に応じて柔軟に対応していく旨の回答があった。

酒井評議員から，本件に関する教員の選考はどこで行うのかとの質問があり，研究協力課長から，代表部局で選考する旨の回答があった。また，酒井評議員から，運営委員会の設置のタイミングについて質問があり，研究協力課長から，開始時点では運営委員会は設置されていないので，代表部局で開始していくこととなり，その後，運営委員会が設置されてからは運営委員会で審議が行われることとなる旨の回答があった。

3. その他
なし

II 報告事項

1. 第289回役員会について
学長から、資料4により報告があった。
2. 奈良教育大学との連携協議について
小川理事から、奈良教育大学との法人統合において、当初は連携教育開発センター設置に伴い教育システム研究開発センターを廃止して、発展的に統合する構想であったが、機能を縮小して当面の間は継続する方向性であることの報告があった。なお、規程改正については、連携教育開発センター等の関係規程と合わせて年明けに付議予定との説明があった。
3. 令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果について
小路田理事から、資料5により、令和2年度の評価結果及び第3期中の評価結果について報告があった。
4. 第3期中期目標期間終了時の教育研究の状況についての評価について
小路田理事から、資料6により、第3期中期目標期間終了時評価における達成状況評価の方針等について報告があった。
5. 第4期中期目標・中期計画について
小路田理事から、資料7により報告があった。また、今後、奈良教育大学との合同策定委員会で検討し、特段の変更意見がなければ、微修正を加えた上で令和4年1月に原案を文部科学省に提出することの説明があった。
6. 人文社会学専攻の3ポリシーについて
人間文化総合科学研究科長及び文学部長から、資料8により報告があった。
7. 各室等からの報告について
なし
8. その他
小路田理事から、1月下旬にホームページのリニューアルを行うことの報告があった。
学長から、文部科学省からの事務連絡として、第4期中期目標期間における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に係るグループの見直しについて、報告があった。
事務局長から、新年互礼会を1月4日（火）16時30分よりオンライン配信で実施する旨の周知があった。
石崎評議員から、来年度から切り替わるLMS（学習管理システム）の状況について質問があり、遊佐副学長から、一部の教職科目など、確実な学修記録の蓄積が必須である科目については、現行システムの利用を次年度も継続する予定である旨の回答があった。
柳沢評議員から、新たな学生寄宿舎を見学したい旨の要望があり、小路田理事から、検討する旨の発言があった。

以上